

2019年度 愛知学泉短期大学シラバス

| 科目番号 | 科目名 | 担当者名 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|-------|----------------------------------|-------|--------|-----|--------|---------|
| 52328 | 教育相談 Educational Consultation | 井手 裕子 | 専門 | 2 | 必修 | 2年後期 |

科目の概要

教育相談は、幼児、児童及び生徒が自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。幼児、児童及び生徒の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識(教育相談の意義、カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む)を身に付ける。具体的には、教育現場で児童・生徒、および保護者や職員に配慮した教育相談を行う際に必要なカウンセリングの基本的知識や理論、姿勢について学習する。実際場面でのロールプレイを演習的に多く取り入れ、教育現場で役立つ援助方法を体験し、子どもの気持ちの受け止め方と応答方法、保護者との相談面接の方法などカウンセリングを基礎として理解を深める。また、保護者支援の基礎と実践場面を理解しシミュレーションする。これらの取り組みを通して、幼児教育の現場で活躍できるための専門的知識・技能を修得し、それぞれの現場で協調性を持って柔軟に活用する能力を身につける。★精神科クリニック、大学院実習施設における心理療法(精神分析的な心理療法)面接と面接指導、査定(検査を含む)、保健センター、児童相談所のグループ療育支援、保健所、保育園、高等学校での本人や母親との発達相談や面接等の実務経験があり、実践的な指導を行う。実際場面でのロールプレイを通して保育場面と保護者面談場面で役立つ援助方法を体験し、現場で即活用できる能力を身につける。具体的には、相談者への共感的態度を示すことの大切さを理論と体験を結びつけながら理解できるように指導する。

| 学修内容 | 到達目標 |
|---|--|
| ①教育相談の意義(保護者に対する意義、教育の特性と教育現場の専門性を生かした支援) | (1)教育相談の意義と理論 一般目標:学校における教育相談の意義と理論を理解する。 到達目標・・・1)学校における教育相談の意義と課題を理解している。 2)教育相談に関わる心理学の基礎的な理論・概念を理解している。 |
| ②相談の基本(子どもの最善の利益、成長の喜びの共有、保護者の養育力の向上に資する支援、信頼関係を基本とした関わり、自己決定、秘密保持の尊重、地域資源の活用と連携) | (2)教育相談の方法 一般目標:教育相談を進める際に必要な基礎的知識(カウンセリングに関する基礎的事柄を含む)を理解する。 到達目標・・・1)幼児、児童及び生徒の不応答や問題行動の意味並びに幼児、児童及び生徒の発達のシグナルに気づき把握する方法を理解している。2)学校教育におけるカウンセリングマインドの必要性を理解している。3)受容・傾聴・共感的理解等のカウンセリングの基礎的な姿勢や技法を理解している。 |
| ③教育相談の実践場面(保護者に対する指導、内容、方法、技術、計画、記録、評価、カンファレンス) | (3)教育相談の展開 |
| ④いじめ、不登校、不登園、その他の問題、障がいを持つ子ども、その保護者にとっての障がい受容等の、教育相談的諸問題 | 一般目標:教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取り組みや連携の必要性を理解する。 到達目標・・・1)職種や校務分掌に応じて、幼児、児童及び生徒並びに保護者に対する教育相談を行う際の目標の立て方や進め方を例示することができる。2)いじめ、不登校・不登園、虐待、非行等の課題に対する、幼児、児童及び生徒の発達段階や発達課題に応じた教育相談の進め方を理解している。3)教育相談の計画の作成や必要な校内体制の整備など、組織的な取り組みの必要性を理解している。4)地域の医療・福祉・心理等の専門機関との連携の意義や必要性を理解している。 |
| ⑤地域や他職種との連携 | |
| ⑥カウンセラーに求められる基本的な態度と技術(聴く、話す、説得する、情報提供するスキル) | |

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

| | | |
|---------|-------------|--|
| 前に踏み出す力 | 主体性 | 調べ学習等の自発的な学習を行うことができる。 |
| 考える力 | 働きかけ力 | |
| | 実行力 | 事例検討、グループ検討等の困難な課題にも粘り強く取り組むことができる。 |
| | 課題発見力 | 事例検討等で事例を読み取り、登場人物のニーズを把握し、解決の手だてを把握できる。 |
| | 計画力 | |
| | 創造力 | 事例の解説通りではなく、それを土台とした自らの新しい発想を通して事例を解釈し支援計画を考えることができる。 |
| | 発信力 | グループ討議の結果をクラス全体に分かりやすく発表することができる。また、相互に教え合うアクティブラーニング形式の学習方法を実行することができる。 |
| | 傾聴力 | 発表者の意見を自分の立場に置き換えて、発表者の意図をくみ取りながら聴くことができる。 |
| チームで働く力 | 柔軟性 | グループ討議の際、相手の意見も取り入れながら多角的に物事を見ることができる。 |
| | 状況把握力 | |
| | 規律性 | 他の受講者に迷惑がかからないように私語はしない。授業中に携帯電話を不必要に操作しない。居眠りをしない。 |
| | ストレスコントロール力 | |

テキスト及び参考文献

中村健壽監修「社会人準備講座シリーズ2 ワークで学ぶコミュニケーション・スキル」西文社 ※プリントは適宜配布する。 参考文献:幼稚園教育要領(平成30年3月最新版)

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:障がい児保育、教育心理学
資格との関連:幼稚園教諭二種免許、保育士

| 学修上の助言 | 受講生とのルール |
|--|--|
| <p>事例検討やシミュレーションを重ねることで、汎用的思考力である高次解釈(なぜ)と低次解釈(どのように)を自在に使えるようにすること。この別々の解釈水準の思考力を持つことで専門的科目の習得が容易になる。注:高次解釈、低次解釈という用語の意味は、難易度や優先順位とは無関係である。前者は物事の中心的意味(理由、目標)に関する思考であり、後者は副次的意味(手段、二次的目標)に関する思考である。</p> | <p>調べ学習、発表、グループワーク、相互に教え合う等の活動に代表される、アクティブラーニング形式での授業に意欲を持って参加すること。 ほぼ毎回、課題プリントが課されるため、必ず提出すること。</p> |

【評価方法】

| 評価方法 | 評価の割合 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | |
|------------------|-------|------|---------------------------------|---|
| 社会人基礎力 (学修態度) | 10 | ① | ✓ | (主体性) 調べ学習等の自発的な学習を行うことができる。 |
| | | ② | ✓ | (実行力) 事例検討、グループ討議等の困難な課題にも粘り強く取り組むことができる。 |
| | | ③ | ✓ | (課題発見力) 事例検討等で、事例を読み取り登場人物のニーズを把握したり、解決の手だてを把握できる。 |
| | | ④ | ✓ | (創造力) 事例の解説通りではなく、それを土台とした自らの新しい発想を通して事例を解釈し支援計画を考えることができる。 |
| | | ⑤ | ✓ | (発信力) グループ討議の結果をクラス全体に分かりやすく発表することができる。また、相互に教え合うアクティブラーニング形式の学習方法を実行することができる。 (傾聴力) 発表者の意見を自分の立場に置き換えて、発表者の意図をくみ取りながら聴くことができる。 (柔軟性) グループ討議の際、相手の意見も取り入れながら多角的に物事を見ることができる。 (規律性) 他の受講者に迷惑がかからないよう私語はしない。授業中に携帯電話を不必要に操作しない。居眠りをしない。 ※10点満点の素点を評価点とする。 |
| その他 | 90 | ① | ✓ | 調べ学習をプリントで行い、提出することが求められるが、提出の割合で評価する。一の位は四捨五入する。 例) 15回のプリント配布のうち、10回提出・・・67%のため、60点。 |
| | | ② | ✓ | |
| | | ③ | ✓ | |
| | | ④ | ✓ | |
| | | ⑤ | ✓ | |
| 総合評価 割合 | 100 | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|---|---|
| <p>レポート・社会人基礎力(学修態度)・その他(課題)の3つの評価方法において満遍なく十分な力を発揮できればA。 3つの評価方法においてほぼ、あるいは完璧に力を発揮できればS。</p> | <p>筆記試験・社会人基礎力(学修態度)・その他(課題)の3つの評価方法において十分ではないが力を発揮、もしくは2つの評価方法において十分な力を発揮できればB。2つの評価方法において十分ではないが力を発揮、もしくは1つの評価方法において十分な力を発揮できればC。</p> |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法及びフィードバック方法 | 到達レベル C(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|------|---|---|--|---------------------------|----------|---------------------------------------|
| 1週 / | オリエンテーション、教育相談の意義・課題、関連する基礎理論(ロジャーズ理論(3条件、反射、明確化))、カウンセリングマインド、リフレーミング、カラム法、家族システム療法、等)を概観する。また、問題行動・学校不適応行動の意味および見分け方を概観する。 | 講義 グループ討議 | カウンセリングの理論・技術における、基礎となる考え方を理解できる。また、学校における問題行動の内容から、教育相談の必要性を十分に理解することができる。 | 復習:配布プリントを見直す。 | 180 | 主体性 実行力 規律性 |
| 2週 / | 教育現場の専門性を生かした支援を学ぶ(意義と課題を含む)。教師が相談を行う際の、面談の目標づけ、ケースの見立て、支援計画の立案、ケース会議と他教員・スクールカウンセラー等との連携、学校不適応(いじめ、不登校・園、虐待、非行、その他)の理解と対応を概観する。スキル訓練を行う①スキルの重要性 | 講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説 | 保育の現場で特性や専門性を相談支援にどう活かすかが理解できる。スキルの重要性を話題として、話すこと・聴くことの基礎を獲得できる。 | 予習:テキストを読む 復習:テキストを見直す | 90 90 | 主体性 実行力 規律性 |
| 3週 / | 保護者に対する相談・支援の意義、課題を学ぶ。前回に引き続き、教師が相談を行う際の、面接の目標づけ、ケースの見立て、支援計画の立案、ケース会議と他教員・スクールカウンセラー等との連携、学校不適応(いじめ、不登校・園、虐待、非行、その他)の理解と対応を概観する。スキル訓練を行う②相手とのギャップを埋めるには | 講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説 | なぜ教育相談が必要か理解できる。自分がどのような支援を行いたいのか、シミュレーションできる。相手とのギャップを埋めるコミュニケーションについてシミュレーションできる。 | 予習:テキストを読む 復習:テキストを見直す | 90 90 | 主体性 実行力 規律性 |
| 4週 / | 教育相談の基本的な理論、問題行動・学校不適応行動の意味および見分け方を概観し、カウンセリングマインドと受容・傾聴・共感的理解をベースとした対応をシミュレーションする。また、担任となった場合の面接の目標づけ、ケースの見立て、支援計画の立案、ケース会議と他教員・スクールカウンセラー等との連携をシミュレーションする。スキル訓練を行う③非言語コミュニケーション | 講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説 | 教育相談の基本についてシミュレーションできる。特に、相談支援の心構えとして「上意下建にならないためには」「秘密を守るためには」の各問いに答えることができる。非言語コミュニケーションの効果を理解し、シミュレーションできる。 | 予習:テキストを読む 復習:テキストを見直す | 90 90 | 主体性 実行力 規律性 |
| 5週 / | 教育相談の実際を学ぶ①保護者に対する指導(1)家族療法の理論を整理すると同時に、問題行動・学校不適応行動の発見および対応をシミュレーションする。子ども、保護者両方への対応を含む。スキル訓練を行う④話を聴くためのスキル(1) | 講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説 | 保護者との信頼関係構築、協力とは何かシミュレーションできる。傾聴、観察、共感に関するスキルを理解し、シミュレーションできる。 | 予習:テキストを読む 復習:テキストを見直す | 90 90 | 主体性 実行力 規律性 |
| 6週 / | 教育相談の実際を学ぶ①保護者に対する指導(2)家族療法の理論を整理すると同時に、問題行動・学校不適応行動の発見および対応をシミュレーションする。子ども、保護者両方への対応を含む。別事例による。スキル訓練を行う⑤話を聴くためのスキル(2) | 講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説 | 保護者の養育力を向上する方法をシミュレーションできる。3つのスキルの(復習)と、傾聴の応用スキルを使用できる。 | 予習:テキストを読む 復習:テキストを見直す | 90 90 | 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 |
| 7週 / | 教育相談の実際を学ぶ②保護者支援の内容(保護者に対して相談を行うメリットと留意点、家族療法の方法、面接の目標づけ、ケースの見立て、支援計画の立案、ケース会議と他教員・スクールカウンセラー等との連携、学校不適応(いじめ、不登校・園、虐待、非行、その他)の理解、および実際の面接のシミュレーションを行う。スキル訓練を行う⑥理解を深めるためのスキル | 講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説 | 教育相談の構造・種類から内容が理解できる。質問、確認に関するスキルを使用できる。 | 予習:テキストを読む 復習:テキストを見直す | 90 90 | 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 |

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法及びフィードバック方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|-------|--|---|--|---------------------------|----------|---------------------------------------|
| 8週 / | 教育相談の実際を学ぶ③保護者支援の方法と技術(家族療法とソーシャルワークの方法、カウンセリングマインドと受容・傾聴・共感的理解をベースとした対応のシミュレーション、および面接の目標づけ、ケースの見立て、支援計画の立案、ケース会議と他教員・スクールカウンセラー等との連携、学校不適応(いじめ、不登校・園、虐待、非行、その他)の理解、および実際の面接のシミュレーションを行う。スキル訓練を行う ⑦頭の中を整理するためのスキル | 講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説 | 心に寄り添う支援と具体的に支える支援をカウンセリングとソーシャルワークから理解できる。また守秘義務とチーム・組織としての支援が理解できる。熟考、関連付け、優先順位付けのスキルを使用できる。 | 予習:テキストを読む 復習:テキストを見直す | 90 90 | 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 |
| 9週 / | 教育相談の実際を学ぶ④保護者支援の計画、記録、評価、カンファレンス(1)面接の目標づけ、ケースの見立て、支援計画の立案、ケース会議と他教員・スクールカウンセラー等との連携、学校不適応(いじめ、不登校・園、虐待、非行、その他)の理解、および面接のデモンストレーション(発表)を行い、公開議論する。クラスを3つのグループに分け、第1グループが行う。スキル訓練を行う ⑧仕事をスムーズに進めるためのスキル(1) | 講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説 | 教育相談の流れ(ニーズの把握、受理、見立て、支援計画)をシミュレーションできる。報告、連絡のスキルを使用できる。 | 予習:テキストを読む 復習:テキストを見直す | 90 90 | 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 |
| 10週 / | 教育相談の実際を学ぶ④保護者支援の計画、記録、評価、カンファレンス(2)前回のデモンストレーションの続きを、第2グループが行う。スキル訓練を行う ⑨仕事をスムーズに進めるためのスキル(2) | 講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説 | 教育相談の流れ(介入、記録、評価、最終)をシミュレーションできる。相談のスキルを使用できる。 | 予習:テキストを読む 復習:テキストを見直す | 90 90 | 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 |
| 11週 / | 教育相談の実際を学ぶ④保護者支援の計画、記録、評価、カンファレンス(3)前回のデモンストレーションの続きを、第3グループが行う。スキル訓練を行う ⑩情報を共有するためのスキル | 講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説 | カンファレンス、コンサルテーションを理解できる。ジェノグラム、エコマップを作成できる。相談支援の流れを事例に当てはめてシミュレーションできる。説明するためのスキルを使用できる。 | 予習:テキストを読む 復習:テキストを見直す | 90 90 | 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 |
| 12週 / | いじめ、不登校、不登園の問題への対応を学ぶ。チーム医療を参考に教育への応用を考える。これらの問題の実態と本質、対応について教師の立場からの理解を深める。 | 講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説 | 以下の事例検討と通して支援をシミュレーションできる。 1. 養育力向上のための情報提供。2. 苦情対応。3. 保護者同士の関係改善。4. 障がい受容。5. 肢体不自由児の事例。 | 予習:テキストを読む 復習:テキストを見直す | 90 90 | 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 |
| 13週 / | 特別な支援を要する子どもへの対応の実際、障害を持つ子どもの親への対応を学ぶ。福祉現場でのチーム対応を参考に教育への応用を考える。特別な支援を要する発達障害の状態像を理解するとともに、学校・園の支援体制の実際について理解を深める。スキル訓練を行う ⑪提案し、納得に導くためのスキル | 講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説 | 虐待対応と家庭への支援の実際を理解できる。また事例検討から支援をシミュレーションできる。説得とプレゼンテーションのスキルを使用できる。 | 予習:テキストを読む 復習:テキストを見直す | 90 90 | 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 |
| 14週 / | 他職員や専門機関との連携を学ぶ。健康観察の重要性も視野に入れ、児童・生徒の支援のために、養護教諭やスクールカウンセラー等の教育現場内での連携、および医療・福祉・心理等の専門職との連携の際の留意点を理解する。また、ケースカンファレンスのシミュレーションを行う。スキル訓練を行う ⑫クレームに対処するためのスキル | 講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説 | 事例検討により、入所から退所までの支援がシミュレーションできる。また、社会資源について調査できる。謝罪する、問題を解決するスキルを使用できる。 | 予習:テキストを読む 復習:テキストを見直す | 90 90 | 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 |
| 15週 / | 全体の振り返りとまとめを行う | 講義 質疑応答 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説 | 教育相談の知識、事例検討、スキル訓練等についての理解度や応用力などをプリント学習で確認できる。 | (予習復習)テキスト該当箇所を見直す。 | 180 | 主体性 実行力 規律性 |

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力